

(様式3)

## 自己評価結果票 (Cユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>			
<b>1.理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	最後の住居として、個別ケア、ターミナルケアまで受け入れ、精神的にも安定した生活を継続させる。	地域住民、自治会活動等の交流をより深め、施設のサービス内容を知ってもらう。
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	管理者が会議等で職員に説明し全職員も理念を理解している。状態の変化や毎月のケアカンファレンスを行い、ターミナルを考慮に介護を行っている。	ターミナルケアを行い、職員もターミナルを意識している。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	ご家族には入居時にホームの理念を説明し理解が得られるように努め、地域の方々には推進会議等で説明している。	玄関に理念を掲示し、各フロアーにも置くようにしている。(来客者にも見やすく、大きく掲示しては？)
<b>2.地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	散歩時等に近隣の方々と挨拶を交わし、お庭や公園の草花をみて会話している。	再度、地域の高齢者に参加を呼びかけてみる。保育園や小学校、中学校の訪問も気軽にできるように。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の方々、個々の趣味を活かし入居者と一緒に楽しんでもらっている。推進会議等で地域の催しを教えて頂き参加をしている。	自治会主催のお花見、盆踊りの参加 近隣のゴミ拾い

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域活動の参加		公園や道路等の掃除の手伝い
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議等で改善すべき事を話し合い、出来る事から取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの様子や出来事を報告し意見やアドバイスを元にサービスの向上に活かしている。		地域交流がより深まるようにつなげていく取り組み
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福祉課で散歩のボランティアを依頼相談にも乗ってもらっている。		散歩、朗読や紙芝居
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について会議等で話し合っている。力まかせの介護や言葉による暴力はしないよう心掛けている。		冊子を作り各フロアーに配布している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者から苦情や要望は積極的に受け入れ、推進会議でも自由に発言してもらっている。	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	ご家族の面会時、日常生活の様子をお話している。健康状態の変化に伴いその都度、連絡・報告している。 生活費や帳簿確認とサインをもらっている。	毎月、利用者の近況報告をご家族にお渡ししている。 誕生日の時に写真等も添えてあげたい。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ご家族からの苦情や要望は積極的に受け入れている。 推進会議にも参加して頂き自由に発言されている。	要望や不満等、面会時に聞くように。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	職員会議やリーダー会議で意見や要望を聞き解決できるようにしている。 個別面談等で意見や提案を聞く場。	フロアー会議を行い話し合う場を作っている。 定期的にフロアー会議の実施。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	時間延長や出勤日の変更等はリーダーから早いタイミングで利用者の状況の変化に伴いその都度調整。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は定期的に行っている。 最大限の考慮をしているが万全ではない。</p>		<p>離職は発生するのでその都度配置換えが必要となる。 永く働くことが出来るよう労働条件の改善を図る。</p>
<b>5.人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>他施設見学・実習・認知症に関する研修の参加。</p>		<p>研修で学んだことを施設内で実施する。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設見学や交流会等での参加又は意見交換の取り入れを行い、質の向上を図っている。</p>		<p>同業者との交流を増やしたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員のストレスや悩みは聞くように努め親睦会等で解消するようにしている。</p>		<p>リーダー、管理者は職員からの相談や悩みには耳を傾けるように。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>パートから正職員にする事で向上心につながる。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>環境の変化によりご自分を出す事ができないので常に声かけを心掛けコミュニケーションを図ることによって不安を取り除く。</p>	<p>何を訴え考えているのかまで傾聴する。色々な面での話を広げ疎通を図り安心感を与える。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用者の状況を報告し、ご家族に安心して頂く。何事にも耳を傾け不安や心配事がないように。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者の状態を考慮し希望に添えるように支援。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>居室は以前の生活環境に近いものにするように心がけている。</p>	<p>歌やゲーム、物作り等のレクを行い、参加して頂き、少しずつ慣れてもらうようにする。</p>
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活全般の中で利用者の経験や豊富な知恵を聞き、教わり、お互いを尊重し合っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の現状を説明し対応や介助をご家族と話し合い、双方でできる事を協力しあっている。</p>		<p>季節ごとの衣類、寝具などの交換。 利用者が必要とする物は面会時に持って来て頂いている。</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>敬老会やクリスマス会に参会して頂き一緒にお食事、カラオケや日舞、演芸等で楽しいときを過ごしています。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族、友人、知人の訪問や連絡は支援している。 自宅や友人宅への訪問はご家族にお願いしている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>毎朝のラジオ体操、週一回の音楽療法1つのフロアーに利用者が集合して行うため、関わりをもつ時間がもてる。</p>		<p>朗読会、紙芝居、盆踊りやミニ運動会、ボランティア、職員、利用者が1つのフロアーに集まり行っている。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>いつでも来てもらって良い事を伝えている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の意見を尊重し、利用者との関わりの中から希望や要望を汲み取り対応している。</p>	<p>趣味や嗜好品など要望があればできるだけ添えるようにしている。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者やご家族からの情報をもとに把握している。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日常の生活記録や介護記録、申し送り、又、看護師によるバイタルチェック等で把握している。</p>	
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメント、日々の生活記録、介護職、看護職の意見を踏まえ利用者や家族、担当職員と相談して作成。</p>	<p>それぞれの意見や話し合いをもとに介護計画を作成している。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直し、フロアー会議等の話し合いや状態の変化に応じてその都度作成している。</p>	<p>状態の変化に応じてご家族とも相談し協力を得る。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを作成、生活記録、支援経過の記録、アセスメント等で情報を共有している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	内科医、歯科医、眼科医、介護用品の購入、クリーニングの利用、介護タクシーの利用等。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによる散歩、朗読や避難訓練、自治会の行事への参加。		
41	他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	身体状況の変化に応じてご家族と話し合い、要望があれば特養、老人保健施設を利用している。		
42	地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ホームの運営推進会議に参加 色々な情報を提供してもらっている。		必要に応じて協力し合えるようお願いする。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>必要に応じてご家族と看護師が相談し、専門医に受診できるようにしている。</p>	<p>職員が利用者をよく観察し、状態の変化を早期に発見し報告している。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>病院側に介護サマリーを渡すなど生活状況を知らせ、入院生活がスムーズとなるようにし、病院やご家族から経過や情報を得ている。又、見舞い時には看護師から話を聞く。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>職員は常に頭においている。終末期には主治医、ご家族、看護師、介護者が必要に応じてすべての条件が整った時に行っている。</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>今以上にチームで話し合う場を作り、個別ケアや介護をどのように続けていくのか考える。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>居室の鍵などの管理できる利用者には、本人が管理している。申し送りや個人の話しは利用者の聞こえない所で行っている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>3時のおやつは好きなものを選んで頂いたり、食事のおかわり、お茶のおかわりもされる。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>ご本人の意志やペースに合わせた対応、自らやる気にさせるような声かけ、個別ケア。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>化粧品や衣類の購入、理美容はホームで行っている。要望があれば外出し家人と望む店へ行かれる。</p> <p>本人が好きな髪型や望む服装を出来るだけかなえるように。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、盛付け、配膳、後片付けなど職員と共にしている。		ホームの畑で育てたトマト、キュウリ、さつまい等をsoy九卓に上げるようにしている。 さつまいでスイートポテトや焼き芋にしておやつ の時間に作り食べている。
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	甘味が好きな型にはおはぎやぜんざいなど職員と共に作ったり、お酒やタバコは楽しめるようにしています。		おやつは食べれる量の範囲内でご家族にお願いし、作って食べるという楽しい時間を多くしています。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンに合わせてトイレ誘導を行っている。 個々の能力に応じてそれぞれ使用する。		立位可能な利用者は、出来る限りトイレで排泄できるように。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日置きの入浴ですが、体調不良や本人の要望があれば入浴しています。		その日の気分で嫌がる利用者には本人が入りたい時に。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	シーツ交換や布団干しはマメに行っている。 就寝は基本的に利用者の意志で。		就寝は個人差があり、その日その時々で違い 20時～22時
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の能力に応じ、洗濯、食事の準備、掃除等の役割分担を決めている。 音楽療法、朗読、輪投げ、昔の遊び、外気浴、ビデオ観賞。		お買物、ドライブ、外食、誕生会等をもっと増やしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している			
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご家族の協力で外食・外出・外泊 職員と一緒に買い物		個人の希望する買い物、外食等をもっと増やしたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に電話を希望される利用者は事務所でかけてもらっている。		ご家族や友人からのハガキや手紙、年賀状、暑中見舞いなど届いている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族、友人、知人など気軽に来所され、好きなように時間を過ごされている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議やその時々に応じて話し合い理解している。生活環境、介護・介助・支援の見直しを行い取り組んでいる。		ある一定期間の拘束が必要な場合は、ご家族と事前に話し合い、了承を得て書類に捺印を頂いている。必要性がなくなれば、連絡報告している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム内は自由にどの階にも行き来できるようにし、開所時から玄関の解放。		帰宅願望や不穏状態で落ち着きがない利用者には常に位置確認し配慮している。 又、関わりを多くしその時その思いを職員がしっかりと傾聴する。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員が入室する時は、必ずノックと声かけをしている。利用者の所在は常に確認し、トイレ誘導の際には他の職員に声かけしている。他のフロアへ利用者が一人で行かれる時は、その階の職員から報告・連絡するようにしている。		トイレ誘導や着衣の交換の際には、他の利用者に気づかれないように配慮している。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	できるだけ、利用者と共に衣類の整頓をし、危険な物がないかをチェック。見つけたら回収してご家族に渡し、必要なければ破棄している。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	両下肢の弱い利用者や手押し車、杖歩行、車椅子使用の利用者への配慮。 嚥下困難な利用者の食事介助はゆっくり時間をかけている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応は職員も周知している。 会議等でも対応の方法を話し合い。		状態の悪い利用者については、看護師から職員に指示があり対応している。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署に来てもらい、緊急時の通報や消化器の使用方法の講習を受け、年に2度～3度の避難訓練の実施。 又、会議でも話し合い、練習、講習。		運営推進会議で災害時の協力を具体的に進めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>状態の変化に応じてその都度ご家族と話し合い、今後起こり得るであろうリスクについても説明・対応の話し合い。</p>	<p>必要時にはご家族にも協力を得ている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日、バイタルチェックを行い、食事・水分の摂取量、排泄の状態、顔色や動作等の変化に配慮し看護師と疎通を取り対応している。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個々の薬の目的や用法、副作用等は看護師から説明を受けている。 薬の変更時にも説明があり症状の変化等があれば看護師に報告している。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食事・水分量には常に気をつけている。 便秘気味の方には看護師が担当医と相談し薬の調整を行っている。</p>	<p>便の確認は毎日している。 トイレが自立している方も配慮し、確認取っている。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の歯磨き(義歯)、舌の清潔、夜間義歯の熱湯消毒、職員による自歯の確認。</p>	<p>舌クリーナーで舌磨き。 食後の口腔ケア</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分・食事を記録し必要な量を確保できるよう支援している。 嚥下困難な方にはミキサー口ミ食で支援。</p>	<p>利用者の栄養状態に合わせてラコールやエンシュアなどの補助食品を使用している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを設置し、それに沿って実行している。 職員会議でも話し合い。		職員や外来訪者、職員に手洗いうがいを励行している。
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材はチェック表で管理している。食材の温度管理は中心温度計使用、管理器具は食洗機や熱湯消毒、漂白で除菌。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	段差のない玄関周りは出入りしやすく常に花が置かれ、ソファで安らげる。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビングで圧迫感もなく大きな窓から陽が差し込み、窓から見える景色は季節を感じることができる。 又、畳スペースもある。		トイレは各居室に設置されている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやつい立を置き、簡易的な目隠しになるようにしている。 畳スペースにテーブルを置きくつろげる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や装飾品、仏壇などを持ち込んで、安心して過ごせるようにしている。		
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングや居室は毎日換気している。 エアコンの温度管理は職員がその都度気温や天気を考慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床面は車椅子で移動しやすく、歩行しやすいように手すりを設置している。		
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の趣味や能力を活かし、出来る事、出来ない事を見極め支援している。		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に日向ぼっこやお茶を楽しむための椅子やパラソルを置いている。 小さな畑には、季節の野菜を植え収穫し食べて楽しんでいる。		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目 (Cユニット)		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)